

ぼかし肥料とは

ぼかし肥料は、米ぬか、油かす、鶏糞などの有機質肥料を主な原料とし、それらを微生物により分解、発酵させてつくる肥料です。

ぼかし肥料の作り方

ぼかし肥料の作り方は、地域や農家によって様々ですが、一般的には以下の手順で行われます。

1. **原料を混ぜ合わせる**: 米ぬか、油かす、鶏糞などの有機質肥料を、ほぼ同量ずつ混ぜ合わせます。
2. **水を加える**: 混ぜ合わせた原料に、全体の重量の約 30%の水を加えます。
3. **密封容器に入れる**: 水を加えた原料を、ビニール袋やポリバケツなどの密封容器に入れます。
4. **発酵させる**: 密封容器を暖かい場所に置き、1 週間程度発酵させます。

ぼかし肥料の効果

ぼかし肥料は、以下のような効果が期待できます。

- **土壌の微生物を増やす**: ぼかし肥料は、微生物の餌となる有機質を豊富に含んでいるため、土壌の微生物を増やすことができます。
- **土壌の構造を改善する**: 微生物が増えると、土壌の団粒構造が改善され、水はけと通気性が良くなります。
- **作物の生育を促進する**: 微生物が分解した有機質は、作物が吸収しやすい養分となります。
- **病害虫の発生を抑える**: 土壌の微生物が増えると、病害虫の発生を抑える効果があります。

ぼかし肥料の使い方

ぼかし肥料は、元肥や追肥として使用することができます。

- **元肥**: ぼかし肥料を、種まきや苗の植え付けの際に土壌に混ぜ込みます。
- **追肥**: ぼかし肥料を、作物の生育中に土壌に追施します。

ぼかし肥料の注意点

ぼかし肥料は、以下の点に注意して使用することが重要です。

- **発酵が十分に行っていないぼかし肥料は使用しない**: 発酵が十分に行っていないぼかし肥料は、土壌中の微生物を減らす可能性があります。
- **過剰に施肥しない**: ぼかし肥料は、有機質肥料であるため、過剰に施肥すると、作物が徒長したり、病害虫が発生しやすくなったりする可能性があります。